

日本史授業プリント近代2 2 (094) 韓国併合と辛亥革命

2年 組 番 \_\_\_\_\_.

韓国併合への道 ※「併合」は新語（「合併」では対等）

1904. <sup>1</sup>日韓議定書…韓国の独立の保障と日本軍の行動の自由を保障 } 日露戦争中  
 《<sup>2</sup>第1次日韓協約》…日本推薦の財政・外交顧問を置く }
- <sup>3</sup>1905. <sup>4</sup>桂・タフト協定…桂首相と米陸軍長官タフトが交わした覚え書き } 英米の承認  
 韓国(日)・フィリピン(米)の權益を相互に承認 }  
<sup>5</sup>日英同盟改訂(第2次日英同盟)…イギリスは日本の韓国への支配権を承認 }
- 《<sup>6</sup>第2次日韓協約(<sup>7</sup>乙巳保護条約)》…韓国の<sup>8</sup>外交権を奪う＝<sup>9</sup>保護国化  
 →漢城(ソウル)に<sup>10</sup>韓国統監府設置 (天皇直属：初代統監は<sup>11</sup>伊藤博文)
- <sup>12</sup>1907. <sup>13</sup>ハーグ密使事件…高宗、<sup>14</sup>万国平和会議に密使、独立回復を提訴 →無視される  
 ↓ ……ハーグ(オランダ)で開催 (外交権なし)
- 《<sup>15</sup>第3次日韓協約》…高宗退位(→純帝即位) <sup>16</sup>内政権も統監府が掌握  
 韓国軍隊を解散→各地で反日武装闘争(<sup>17</sup>義兵運動)が本格化 約2800件
- <sup>18</sup>第1次日露協約…韓国の保護国化をロシアも承認
1909. <sup>19</sup>伊藤(前統監)暗殺…満州<sup>19</sup>ハルビン駅 犯人<sup>20</sup>安重根 ※韓国首相李完用も襲撃される
- <sup>21</sup>1910 《<sup>22</sup>韓国(日韓)併合条約》…全統治権を日本へ譲渡し植民地化 <sup>23</sup>朝鮮と改称  
<sup>24</sup>京城(漢城を改称)に <sup>25</sup>朝鮮総督府設置 (天皇直属：初代総督は<sup>26</sup>寺内正毅陸相)  
 「地図の上朝鮮国にくろぐろと墨をぬりつつ秋風を聴く」(石川啄木)
- 明治憲法は適用されず、納税義務はあるが参政権はない。兵役もない。
  - <sup>27</sup>武断政治…統治方針。憲兵警察など軍部主体の力でおさえる政策。～1919
  - <sup>28</sup>土地調査事業の開始…土地所有者の確定→所有の明確でない土地を接収するなどの混乱
- <sup>29</sup>東洋拓殖会社(1908～)や日本人地主などへ払い下げ  
 ……朝鮮で土地政策や鉱工業経営などを行った半官半民の企業  
 →小農民の没落、日本へ移住など

条約改正の完了 (←近代17)

(VII) <sup>30</sup>小村寿太郎 外相(1908~11) ☆ <sup>31</sup>桂太郎(II) 内閣

新<sup>32</sup>日米通商航海条約(<sup>33</sup>1911) … <sup>34</sup>関税自主権の獲得(<sup>35</sup>税権の回復)

※旧条約(1894)の期限切れを受けて交渉し成立

☆明治天皇病没(1912-7/30) … 時代は大正へ

中国革命

<sup>36</sup>孫文 … <sup>37</sup>三民主義 を主張 <sup>41</sup>中国革命同盟会(中国同盟会)結成(1905 東京)

…<sup>38</sup>民族主義・<sup>39</sup>民権主義・<sup>40</sup>民生主義(土地に対する権利の均等)

→<sup>42</sup>1911年 <sup>43</sup>辛亥革命 … 各地で軍が蜂起して清から独立し代表が南京に結集

<sup>44</sup>1912年 <sup>45</sup>中華民国 成立…<sup>46</sup>臨時大総統は<sup>47</sup>孫文 アジア初の共和国

→清朝首相<sup>48</sup>袁世凱 の画策で最後の皇帝宣統帝は退位＝清朝滅亡

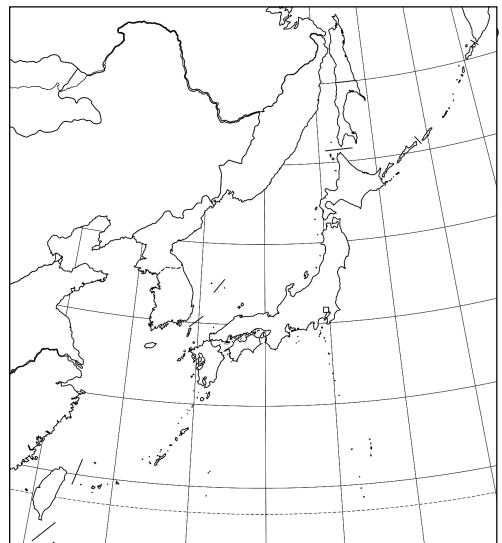
→臨時大総統に就任、各地の軍事勢力(<sup>49</sup>軍閥)や列強と結び

孫文や<sup>50</sup>国民党 (←中国同盟会)を排撃

1913年 孫文、日本へ亡命。

※日本…陸軍や民間に内政干渉せよという意見があったが、政府は不干涉方針。

**作業** 図表230、232ページを見て、明治末の日本領土(満鉄ふくむ)を書き入れなさい。



**【正誤問題に挑戦】** <1998年A追試験より>

- (1) 韓国皇帝は、オランダのハーグで開かれた万国平和会議に密使を派遣し、日本の韓国支配の実情を訴えようとした。
- (2) 土地調査事業は、土地の所有権を確定することを目的とし、その実施過程で、小作農民は激減した。